

No. 1450

耳 の 日

3月3日は耳の日。

耳や体の不自由な人にも電話をと電々公社では頭の骨に直接振動する「ひびき」、音量を調節できる「めいりよう」などいろいろと開発されています。

これら「福祉の電話」は各地の敬老会館などに設置され喜ばれています。

一方、人工中耳の研究開発も通産省工業技術院の委託で帝京大学医学部鈴木教授を中心に進められています。

現在、2年前に猫の頭に植え込んだ人工中耳の実験が続いており実用化も近いようです。

フ ラ ッ シ ュ

- ① 皇太子ご一家は2月13日、千葉県之行徳野鳥観察舎へお出かけになり、バードウォッチングと伝統のカモ猟を楽しみました。
- ② 春は女性が一段と美しくなる季節。その裏には、彼女たちの必死の努力があるのです。

鯉 の ぼ り

— 愛 知 ・ 岩 倉 —

男の子の出生を祝って晴れ渡った大空に大ききうねり泳ぐ鯉のぼり。

愛知県岩倉市中本町の中島屋は先祖代々400年の“のれん”を誇る鯉のぼり店だ。13代目松浦勉さん(47)は、昔ながらの手がきで、鯉のぼりを染める伝統を守っている。竹ワクに天竺木綿を張る。母親や弟さんも手伝う。モチ米で作ったノリで輪郭を描く。指先でしぼり出しながら同じ太さで描くのがコツだ。大豆のすりつぶし汁でとかした顔料で、色つけをしていく。子供たちの塗り絵の要領だ。ノリが悪かったり、技術が未熟だと絵具がにじんでくる。根気のいる仕事で長さ9メートルののぼりで3日はかかる。

屋敷の横を流れる五条川で染めたのぼりを洗う。冷たい清流にこいのぼりをさらす光景はまさに冬の風物詩。手染めの美の極致がある。